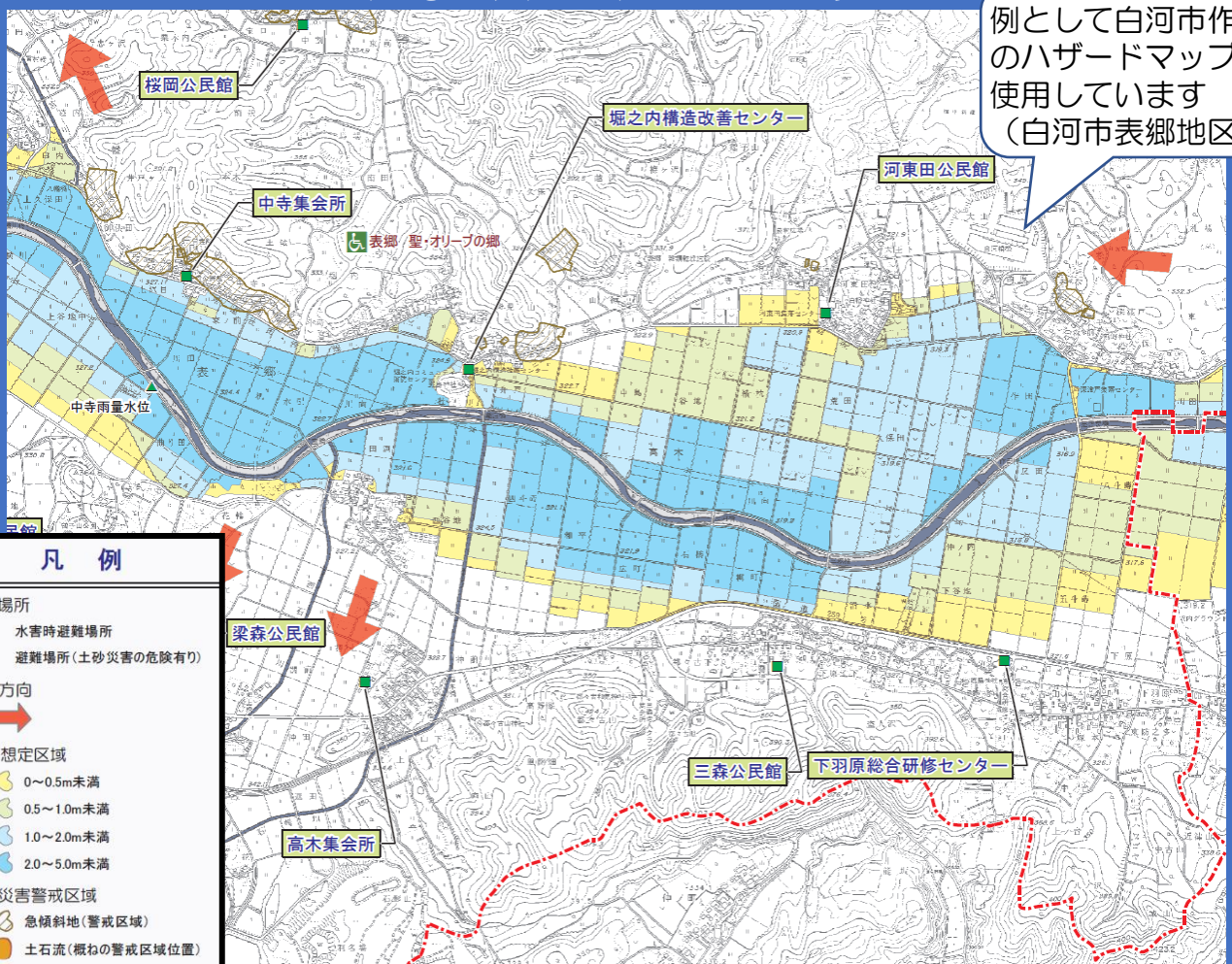


# あなたの地域も リスクは存在します

(園芸施設共済)

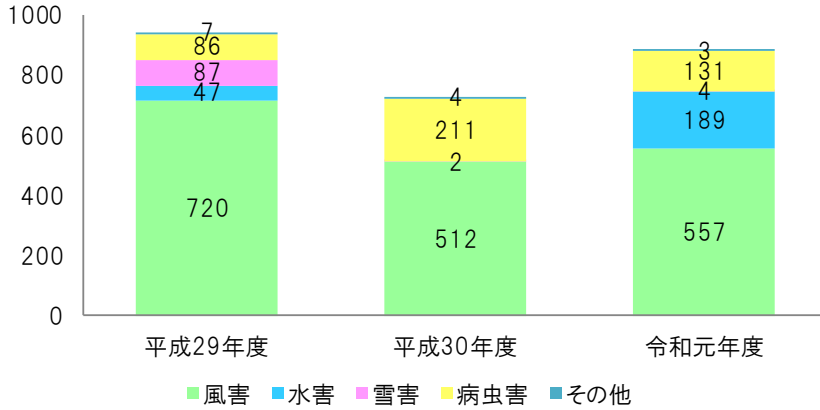
- 今後、自然災害が起こらないという保証はありません。
- もしも自然災害が発生した場合には、甚大な被害となるおそれもあります。
- あなたの地域でおこりやすいリスクに応じて、被害の未然防止や万が一被害を受けた場合の補償など、日頃から備えましょう。

## あなたの地域のハザードマップ ～身近なリスクを知っていますか～



# 福島県における園芸施設共済の共済金支払状況

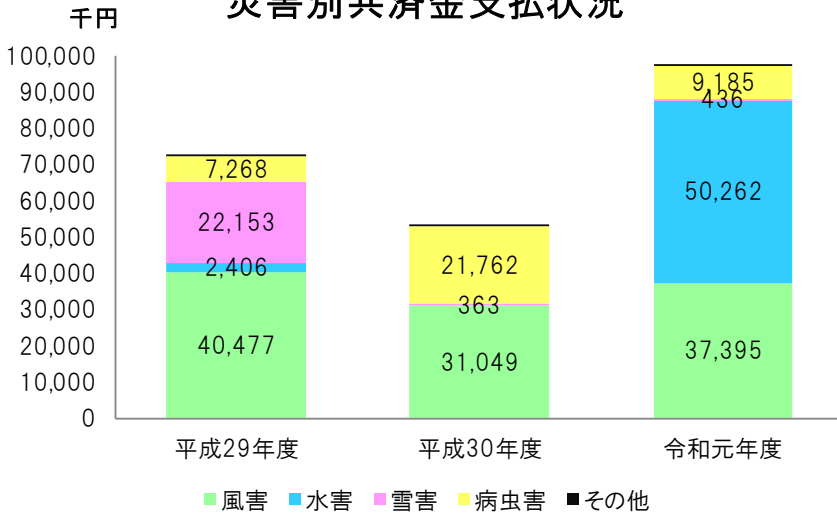
## 災害別被害棟数



被害棟数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計	947	729	884

## 災害別共済金支払状況



共済金支払状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計	72,726,027	53,339,935	97,417,858

## 被害概況

平成29年度は、4月中旬、12月下旬及び平成30年3月上旬に急激に発達した低気圧の通過に伴う強風、台風18号及び21号による強風、11月下旬の会津方部の降雪により被害が発生した。

平成30年度は、台風21号及び24号による強風、12月上旬及び平成31年1月中旬に急激に発達した低気圧の通過に伴う強風により被害が発生した。

令和元年度は、本県を通過した台風19号による強風と大雨、令和2年3月上旬及び下旬に急激に発達した低気圧の通過に伴う強風により被害が発生した。

近年、それぞれの地域において過去に例のないような災害が多発しており、農作物や農業用ハウスに大きな被害が発生してしています。

園芸施設共済金支払いに係る被害程度においては、下記の表3. 4にありますように50%を超える被害が被覆材のみとなっています。1棟当たりの支払いは過去3か年をみても平均4万円を超えています。

令和元年度におけるプラスチックハウスⅡ類の1棟当たりの平均農家負担掛金額は約3,700円となっています。

### 被覆材のみの被害件数

表3 被害棟数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計	630	416	460
損害割合	66.5%	57.1%	52.0%

表4 共済金支払状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計	27,498,142	18,983,834	20,187,443
損害割合	37.8%	35.6%	20.7%

# 自然災害は日本各地で発生しています

## 台風

- ▶ 台風は、平均的に**毎年3個**が**上陸**しています。  
※1990～2019の30年間の平均
- ▶ 近年、台風が強い勢力を保ったまま上陸し、**観測史上1位**となる**最大瞬間風速**や**降水量**などが**各地で記録**されています。

台風被害の様子



台風の上陸数

年	上陸数	年	上陸数	年	上陸数
1990	6	2000	0	2010	2
1991	3	2001	2	2011	3
1992	3	2002	3	2012	2
1993	6	2003	2	2013	2
1994	3	2004	10	2014	4
1995	1	2005	3	2015	4
1996	2	2006	2	2016	6
1997	4	2007	3	2017	4
1998	4	2008	0	2018	5
1999	2	2009	1	2019	5

### 令和元年 台風19号

103地点で**24時間降水量の記録更新**  
(神奈川県箱根町で922.5mm (全国歴代1位) など)

### 令和元年 台風15号

19地点で**最大瞬間風速の記録更新**  
(千葉県千葉市で57.5mなど)

※気象庁データより

## 竜巻

- ▶ 竜巻は、平均的に**毎年23件**の発生が確認されています。

※2007～2017年の平均、海上竜巻を除く  
(気象庁データより)

竜巻の発生確認数

年	件数	年	件数
2007	12	2013	33
2008	29	2014	21
2009	23	2015	26
2010	37	2016	18
2011	15	2017	10
2012	29	平均	23

## 特別警報の発表件数

- ▶ 平成25年8月30日から運用が開始され、7年弱で**1,531件**  
(**1年あたり平均255件**)の特別警報が発表されています(気象庁HPより)。
- ▶ **特別警報は**、「警報」の発表基準をはるかに超える**数十年に一度の大災害**が起これると予想される場合に発表し、**最大限の警戒**を呼びかけるものです。

## 大雪

➤ 近年、**平年の2倍を超える積雪となる大雪が発生**しています。

※気象庁データより

### 平成30年 2月大雪

8地点で平年の200%を超える積雪  
(福井県福井市で**267%**など)

### 平成30年 1月大雪

7地点で平年の200%を超える積雪  
(群馬県前橋市で**290%**など)

### 平成26年 2月大雪

24地点で平年の200%を超える積雪  
(山梨県甲府市で**814%**など)

## 雪による被害の様子



## 大雨 短時間豪雨

➤ 近年、**大雨や短時間豪雨の発生回数が増加**しています。

※最近10年間の平均と約40年前の10年間の平均との比較

### 大雨

(日降水量200mm以上)

全国1,300地点において1日当たりの降水量が200mm以上となる年間の発生日数(合計)は、最近10年間(2010~2019)の**平均では約262日**で、昔の10年間(1976~1985)と比べて**約1.6倍に増加**しています。

※全国[アメダス]日降水量200mm以上の年間日数より

### 短時間豪雨

(1時間降水量80mm以上)

全国1,300地点において1時間当たりの降水量が80mm以上となる年間の発生回数(合計)は、最近10年間(2010~2019)の**平均では約24回**で、昔の10年間(1976~1985)と比べて**約1.7倍に増加**しています。

※全国[アメダス]1時間降水量80mm以上の年間発生回数より

# 農林水産業への被害は増加しています！

➤ 自然災害による**農林水産関係の被害額は増加傾向**です。

## 過去10年の農林水産関係被害額

資料：農林水産省作成  
注：2020年4月末時点

